

事業提案書要約（草の根協力支援型）

I. 提案事業の概要	
1. 対象国名	ネパール連邦民主共和国
2. 事業名	カトマンズと周辺地域におけるてんかん診断能力向上および地域連携強化事業
3. 事業の背景と必要性	カトマンズ盆地のてんかん患者（推定約 15 万人）の約 70%は適切な診療を受けていない。本来抑制できるはずのてんかん発作のために日常生活上の障害など多大な疾病負荷がかかっている。てんかん診療において最も解決すべき課題は診断能力の向上と地域連携強化であり、その要因である医療側の人材不足（特に専門的知識を持つてんかん診療医や脳波に習熟した検査技師）の是正、医療体制（周辺地域との診療レベル格差）の整備、一般医師・患者への疾患啓発と医療機関へのアクセス促進が必要である。
4. プロジェクト目標	<ul style="list-style-type: none"> ◆ カトマンズ市および周辺地域のてんかん診断レベルが向上する。 ◆ 周辺地域を含むてんかん患者を必要に応じてスムーズに適切な診療施設に紹介できる地域ネットワークが形成される。
5. 対象地域を管轄する大使館または領事館	在ネパール日本国大使館 1253, Narayan Gopal Sadak Panipokhari, ward No. 3 Kathmandu (North), Nepal (P. O. Box 264)
6. 本事業の対象となる人々	<ul style="list-style-type: none"> ◆ カトマンズ市および周辺地域においててんかん診療を行う医師・脳波検査技師・メディカルオフィサー・看護師（総計約 50 人） ◆ カトマンズ市と周辺地域のてんかん患者
7. 事業活動	<p><活動></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. カトマンズ市内でのてんかんセミナー開催ならびにパートナー病院における外来診療・脳波検査と判読および手術適応評価・手術に対する助言・指導（年 2 回の訪問のうち 1 回） 2. 現地医師、メディカルオフィサー、脳波検査技師の国内研修（年 1 回） 3. 判読困難な脳波のウェブによる遠隔診断でのデータ解析の協力・指導 4. 周辺地域でのてんかんの無料診療キャンプ（想定患者数 50 人）において現地スタッフが行うてんかん診療へのアドバイスと地域てんかん基礎セミナー（年 2 回の訪問のうち残りの 1 回）
8. 実施期間	（西暦）2020 年 1 月～ 2024 年 10 月（56 ヶ月）
9. 事業費概算額	9,453 千円（税抜）
10. 事業の実施体制	◆ すでにカウンターパートとは 10 年以上てんかんを含む脳神経疾患診療の協力・支援関係にあり、常に連絡を取り合うことが可能。また現地メディカルオフィサーを中心としたスタッフによってセミナーや無料診療キャンプの準備と関係者への周知・呼びかけを行うことが可能。
II. 提案団体の概要	
1. 団体名	広島大学病院てんかんセンター
2. 活動内容	<ul style="list-style-type: none"> • てんかん診療 • 広島県のてんかん地域連携体制整備とてんかんについての助言・指導 • 広島県における市民・医療従事者へのてんかん疾患普及啓発活動

（注：A4 用紙 **1 枚以内**にまとめてください）